

アズマヒキガエル (学名: *Bufo japonicus formosus*)

【ヒキガエル科ヒキガエル属】



▲ 背中や手足に大小さまざまなイボが見られる

アズマヒキガエルは、主に東日本から中国地方および近畿地方北部、志摩半島-紀伊半島中部などに分布しており、平地から山地にかけて広く見られます。都市公園などの人の生活圏にも生息し、主に夜行性で地表にいる昆虫類やミミズ類などを食べています。大きいものは体長が16cmになり、体色は個体により茶褐色、黄土色、赤褐色と異なり、背中には大小様々なイボが見られます。その背中のイボと後頭部の耳線から身を守るために白い毒液を出しますので、動きが遅く簡単に捕まえられそうに感じますが、あまり刺激しないように注意しましょう。

只見では4月頃に産卵を行い、長いところでん状の卵塊を湿地や水たまりなどの止水域で見ることができます。交尾の際には、水辺に多くの個体が集まり、それぞれにしがみついため、団子状態になります。普段はあまり聞くことはできませんが、この時期には「クックク」と鳥の鳴き声のような声を発します。只見では、アズマヒキガエルの四角い体型と大きさを枱に例えたことから、「マスビッキ」と呼ばれています。

企画展

「只見の地形と地質」

期 間：10月5日(土)～令和2年1月6日(月)

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

講 座

「地質からひもとく只見の自然」

10月13日(日) 14:30～16:30

講 師：竹谷陽二郎氏(元福島県立博物館学芸員)

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム ※入館料が必要です。

自然観察会

「只見の地形と地層、植生を観察しよう！」

2019年10月14日(月・祝) 午前9時～午後14時

集 合：ただみ・ブナと川のミュージアム 午前9時30分

観察地：浅草岳只見沢登山道沿い

参加費：高校生以上500円、小中学生400円(保険料込み) 事前申込制

お申込み・お問い合わせはブナセンターまで ☎0241-72-8355